

テルモ株式会社

2007年3月期 第1四半期

説明会

2007年3月期 第1四半期 業績概要 と商品開発について

代表取締役 社長
高橋 晃

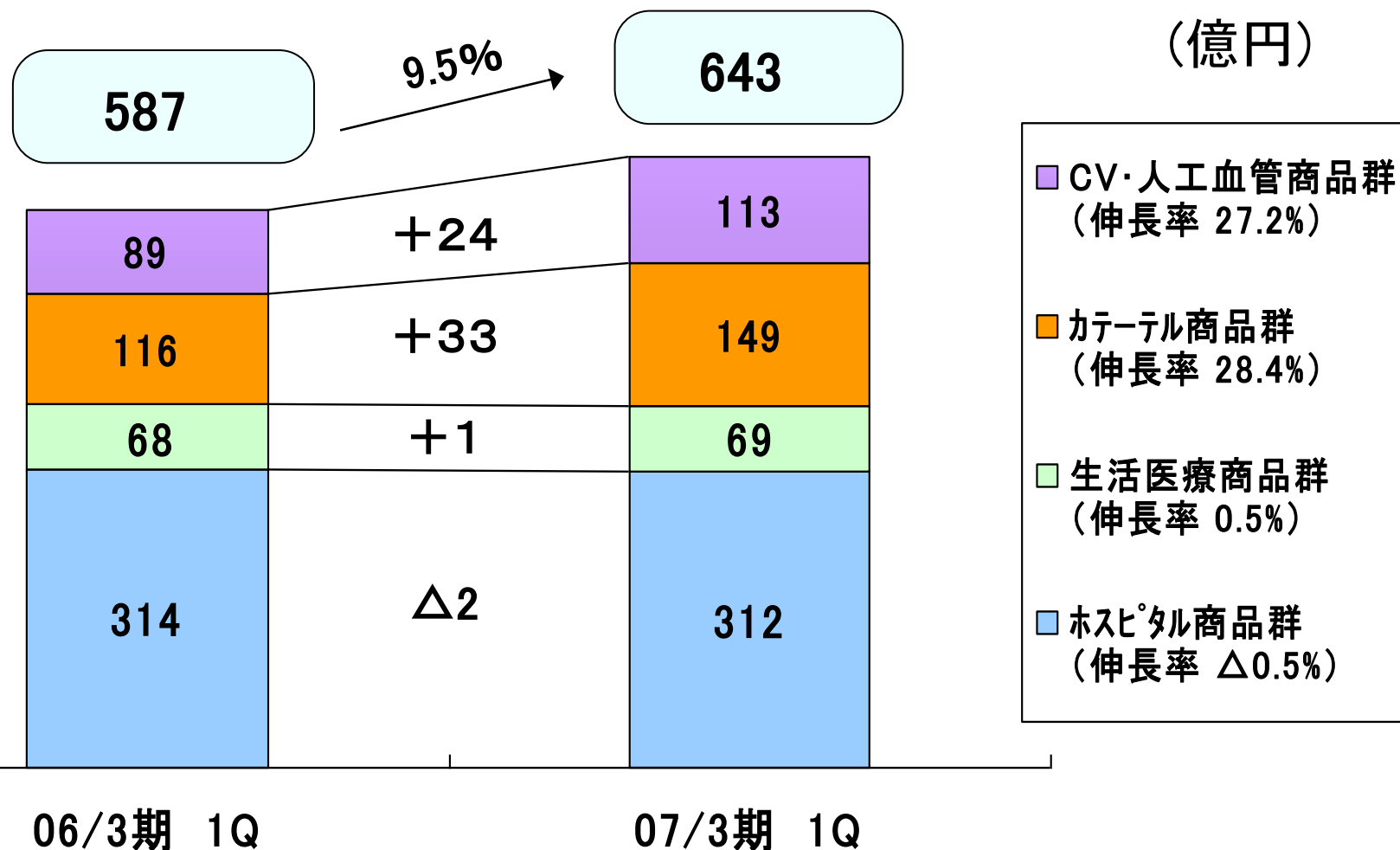


業績概要について

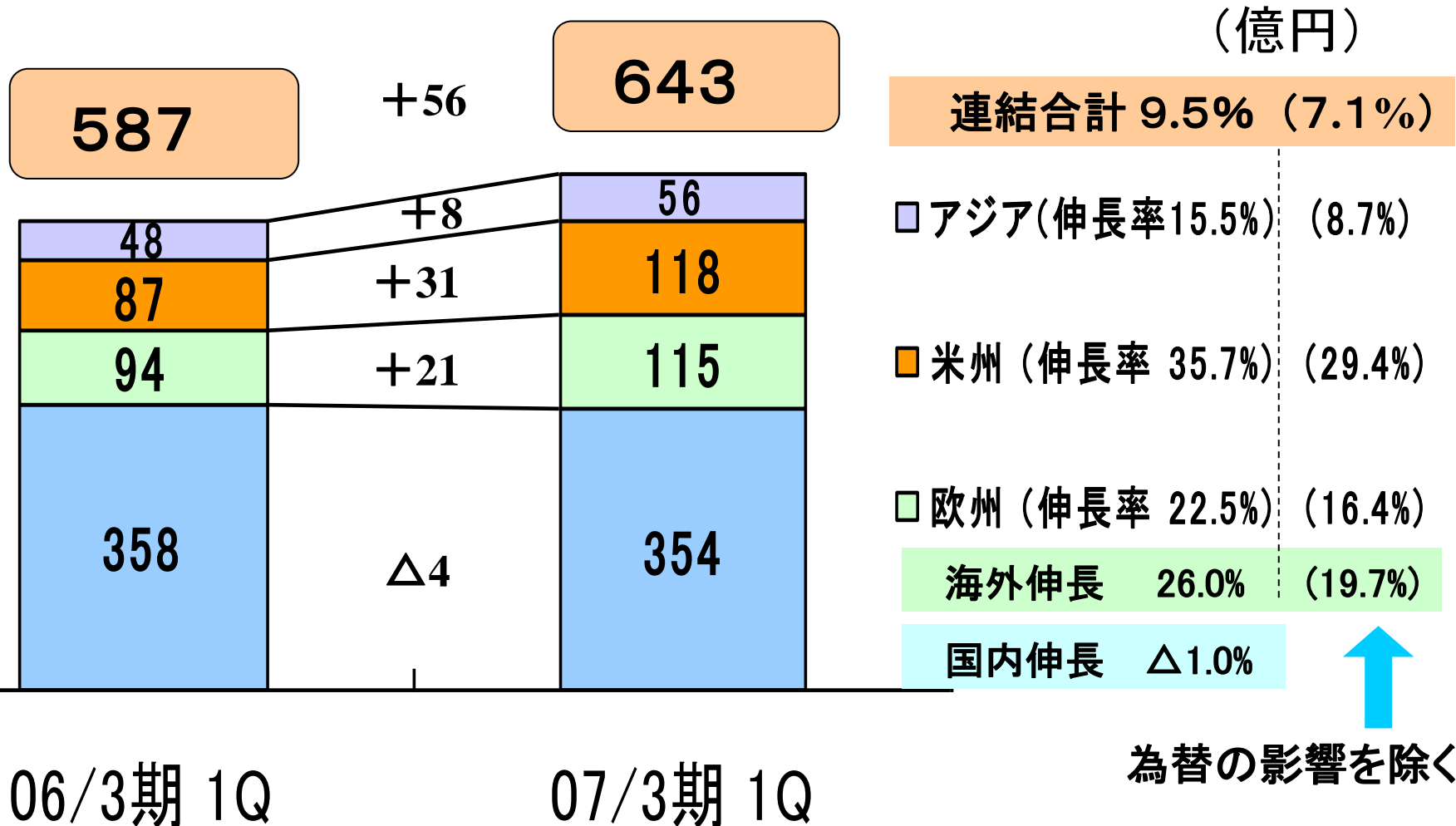
第1四半期実績：増収・増益（億円）

	06/3期 1Q	07/3期 1Q	増減率
売上高	587	643	9.5%
粗利益(率)	319 (54.3%)	359 (55.7%)	12.6%
販管費(率)	198 (33.7%)	224 (34.8%)	13.1%
営業利益(率)	120 (20.6%)	135 (20.9%)	11.8%
経常利益(率)	123 (21.0%)	135 (20.9%)	9.1%
当期純利益	77	80	4.8%
期中平均レート	US\$ 108円 EUR 135円	115円 144円	

売上高(商品群別)



売上高(エリア別)

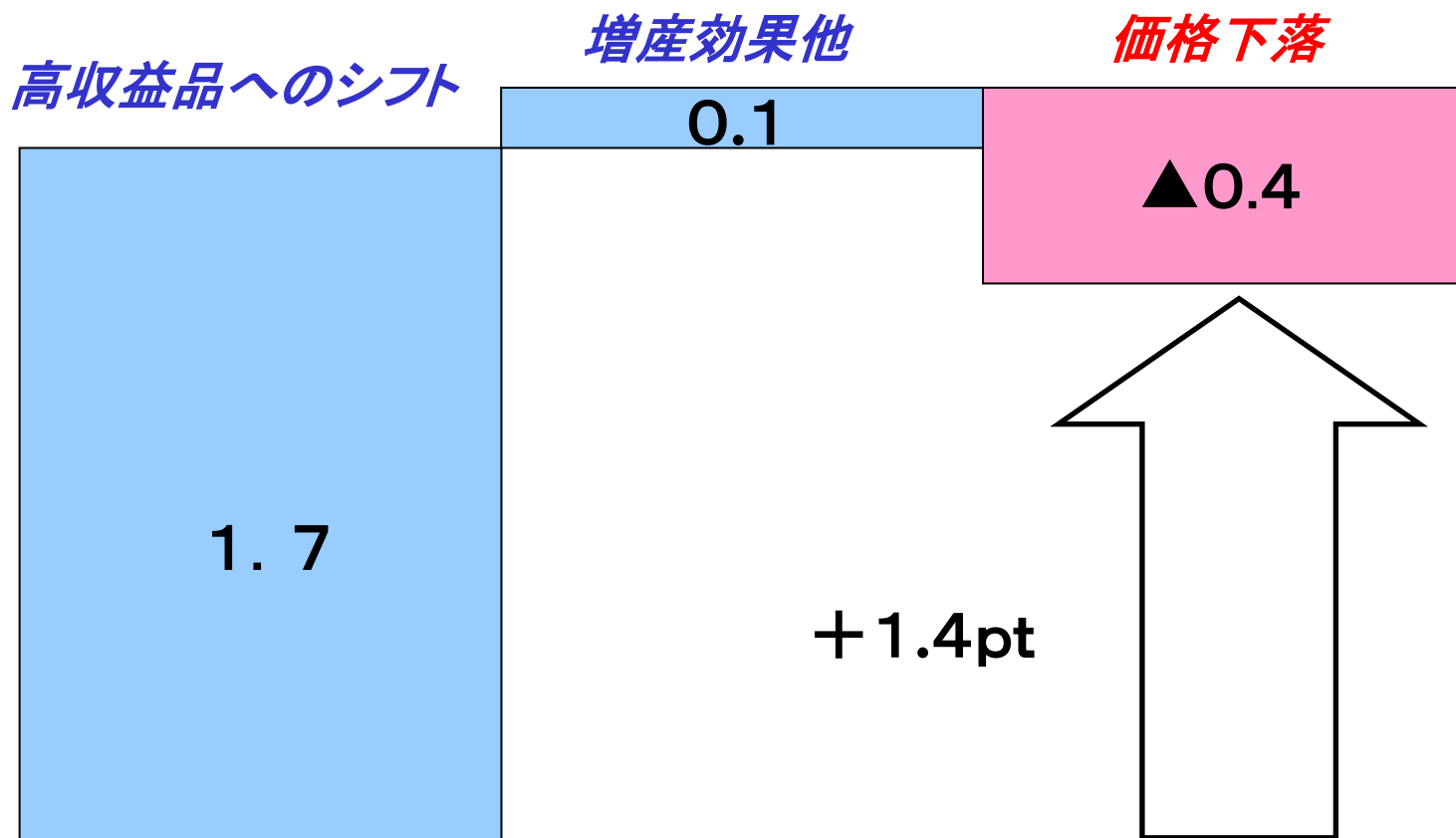


39% 海外売上比率 45%

粗利益率55.7%・前年比+1.4pt

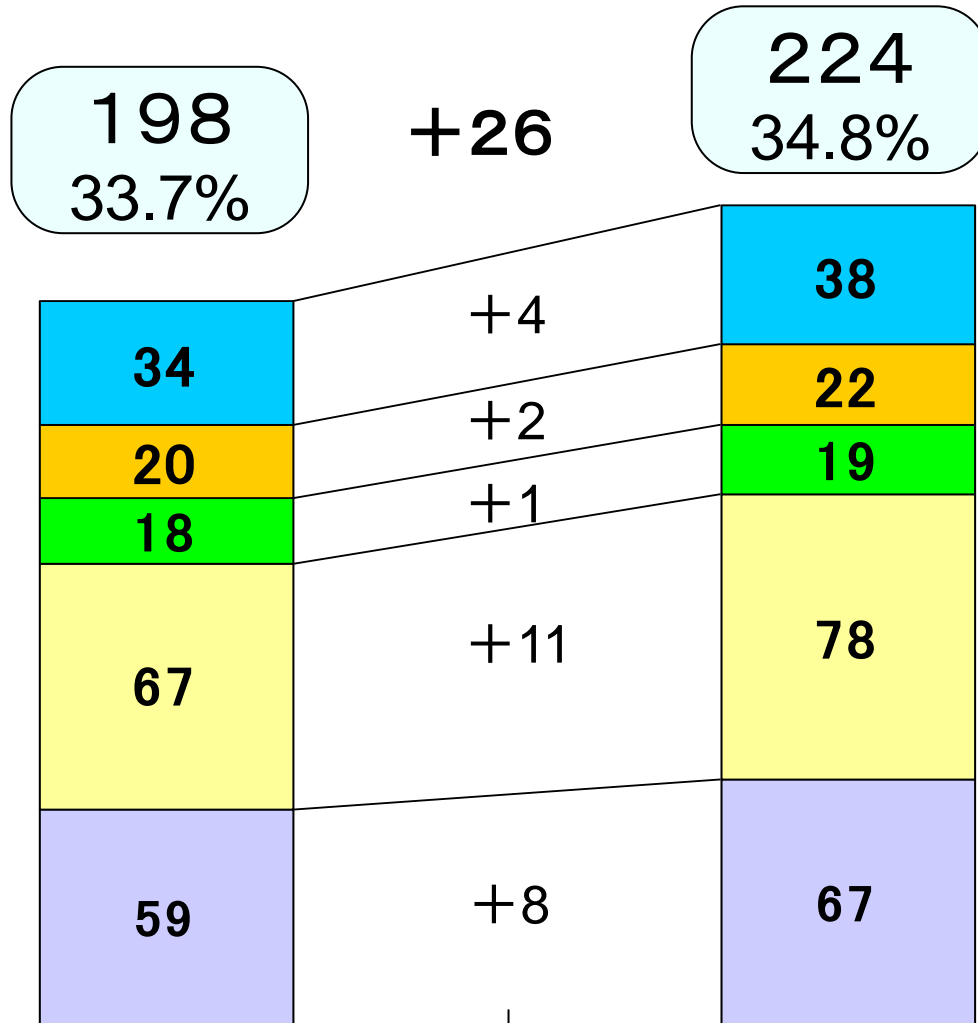
対前年プラス要因: +1.8pt

対前年マイナス要因: ▲0.4pt



販管費の内訳

(億円)



06/3期 1Q

07/3期 1Q

- 研究開発費
(増加率10.2%)
- 販促費
(増加率12.4%)
- 物流費
(増加率5.7%)
- 人件費
(増加率16.3%)
- その他
(増加率13.7%)

07/3期見通し

(億円)

	07/3期中間	07/3期通期
売上高	1,278	2,670
営業利益(率)	265 (20.7%)	547 (20.5%)
経常利益(率)	265 (20.7%)	542 (20.3%)
当期純利益	163	337

期中平均レート

US\$ 110円
EUR 135円



商品開発について

成長に向けた4つの方向性

新しい治療

- ・補助人工心臓
- ・アナコンダ ・脳動脈瘤治療コイル

薬とデバイスの融合

- ・プレフィルドシリンジ
- ・アミグランド

予防医療への取り組み

- ・血糖測定器
- ・血圧計

システム化／サービス化

- ・トレーニングプログラム ・MEメンテナンス
- ・ソリューションパック

4つの方向性での成長を支える

テルモの生体アクセス技術

<生体アクセス技術>

プラスチック
精密加工

金属加工
微細研磨

- 針、注射器
- ガイドワイヤー
- カテーテル
- イントロデューサーキット

ポリマー
技術

コーティン
グ
技術

「人にやさしい」 開発コンセプト

- 痛くない
- 使いやすい
- 間違えない
- 早くできる
- 患者QOL
- 医療経済性

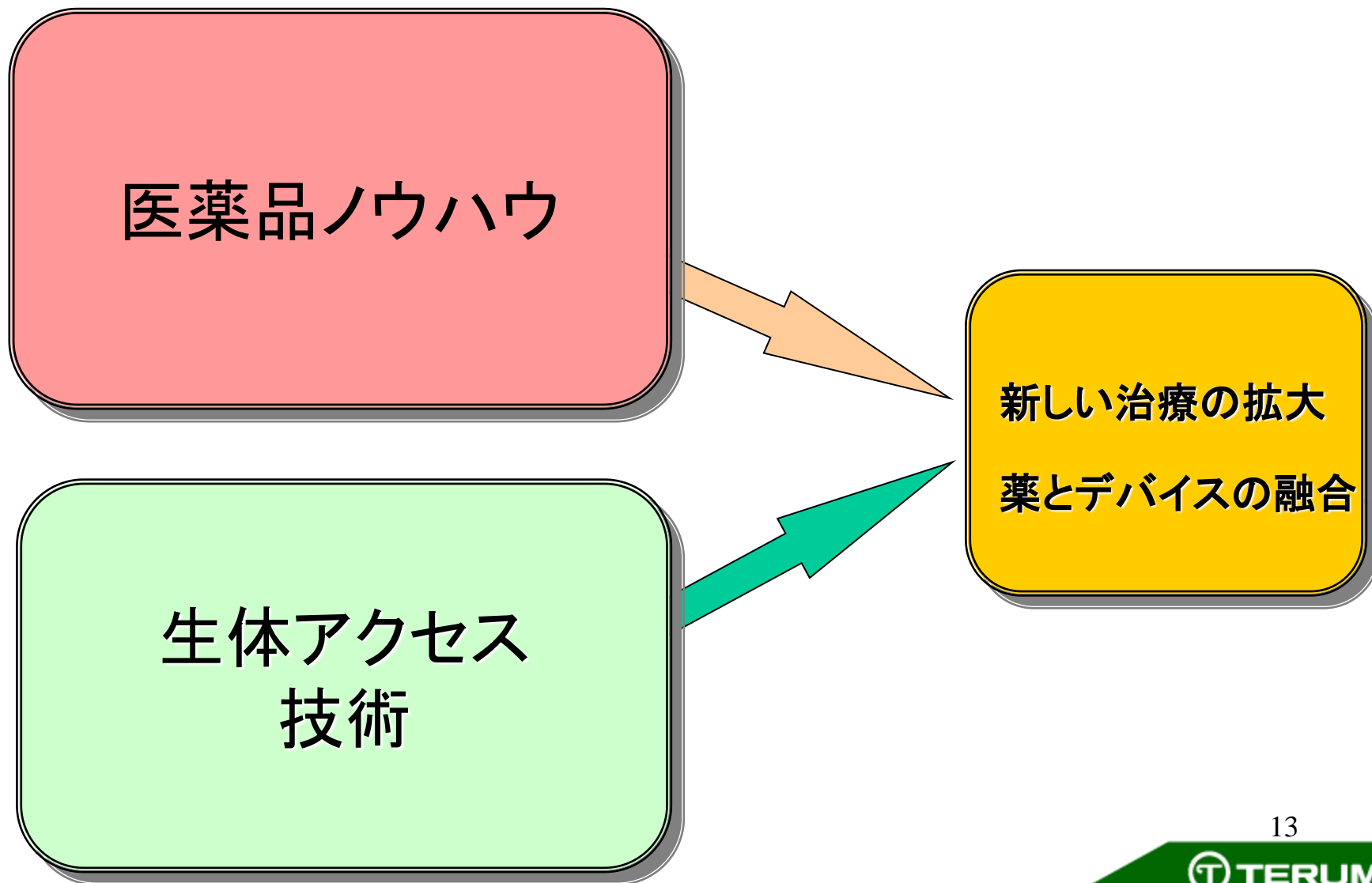
新しい治療

薬とデバイス

予防医療

システム化
サービス化

技術の進化① 生体アクセス & 医薬品ノウハウ



末梢栄養輸液剤「アミグラ ド」

医薬品ノウハウ

- 一剤化・安定化
- 容器とのマッチング
- 生産技術

生体アクセス技術

アミグラド

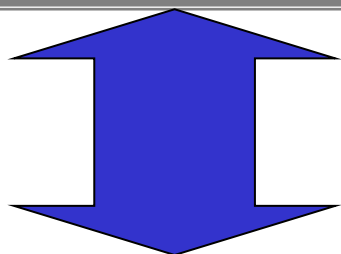


- 「割り忘れ」を防ぎ、安全性を追求
- 必要な栄養素がワンバッグに

2006年6月発売
(今年度売上目標10億円)

ナノカプセル開発

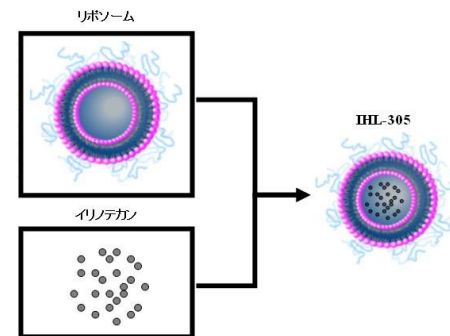
製薬企業とのアライアンス



テルモの生体アクセス&医薬品ノウハウ

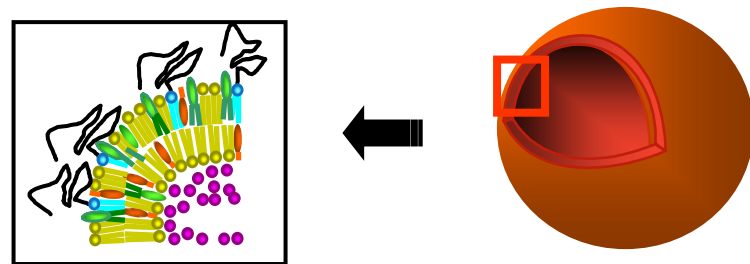
- PEGコーティング技術
- リポソーム製剤化技術
- 整粒化技術

抗がん剤リポソーム



ヤクルト本社、米国にてフェーズI実施へ

人工赤血球 (NRC)



日本: 2007年度中に臨床試験スタート

DEステント

Biosensors 社から導入

- 新規化合物「BiolumusA9」
- 生分解性ポリマー
- ステントデザイン

テルモの生体アクセス&医薬品ノウハウ

- コーティング、ポリマー技術
- 微細加工技術
- 医薬品製造技術

次世代
DEステント開発

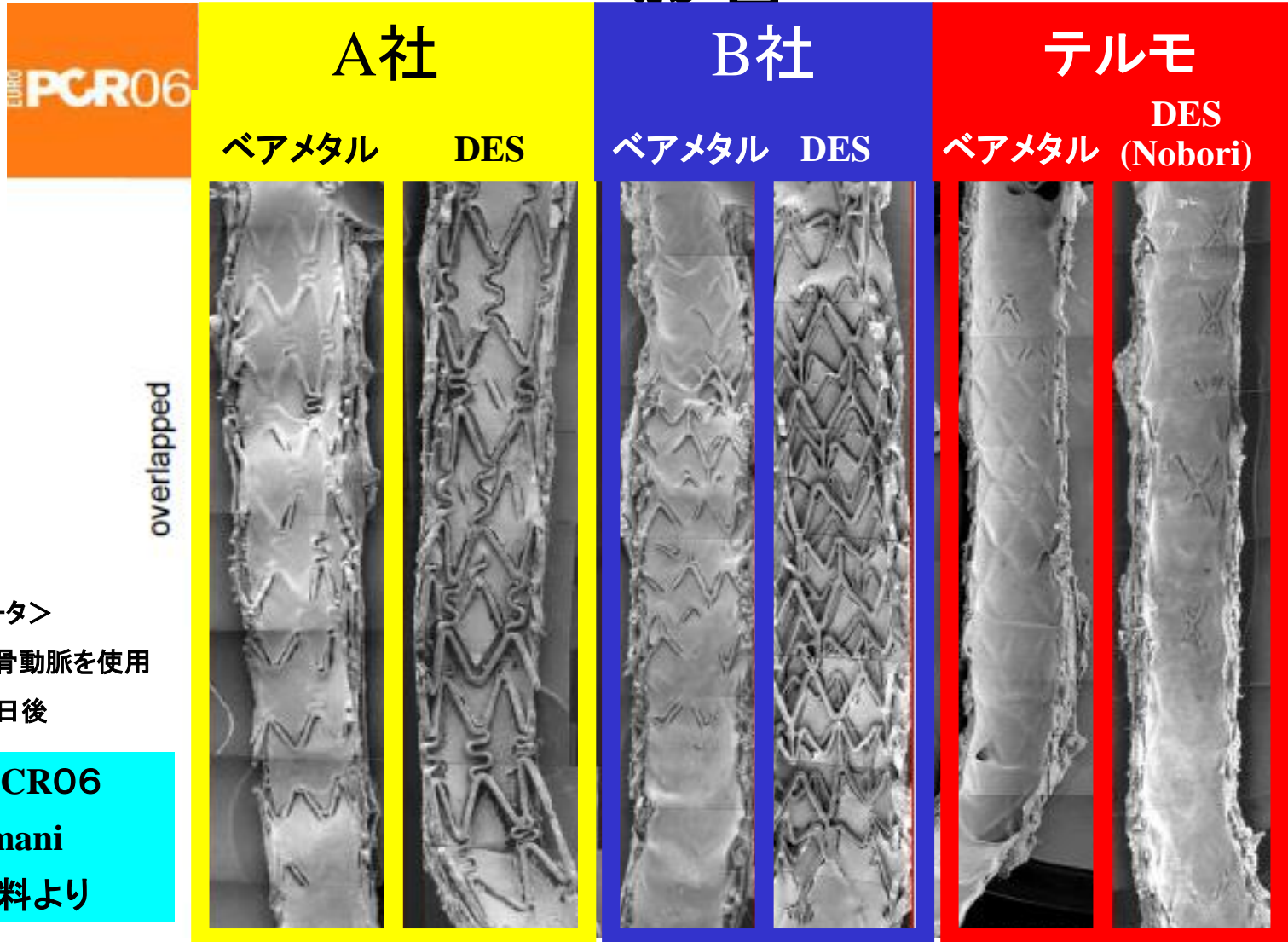
DEステント「No bori」

欧州：

- ・CEマーク取得のための申請中
 - －2006年度中にCEマーク取得予定
- ・安全性・有効性データ取得のための臨床試験中
 - －360症例中155例実施(6月30日現在)
 - －埋め込みは2006年秋に終了予定
- ・2006年10月のTCTで中間報告を予定



DEステント、血管内皮細胞への影響



<比較データ>

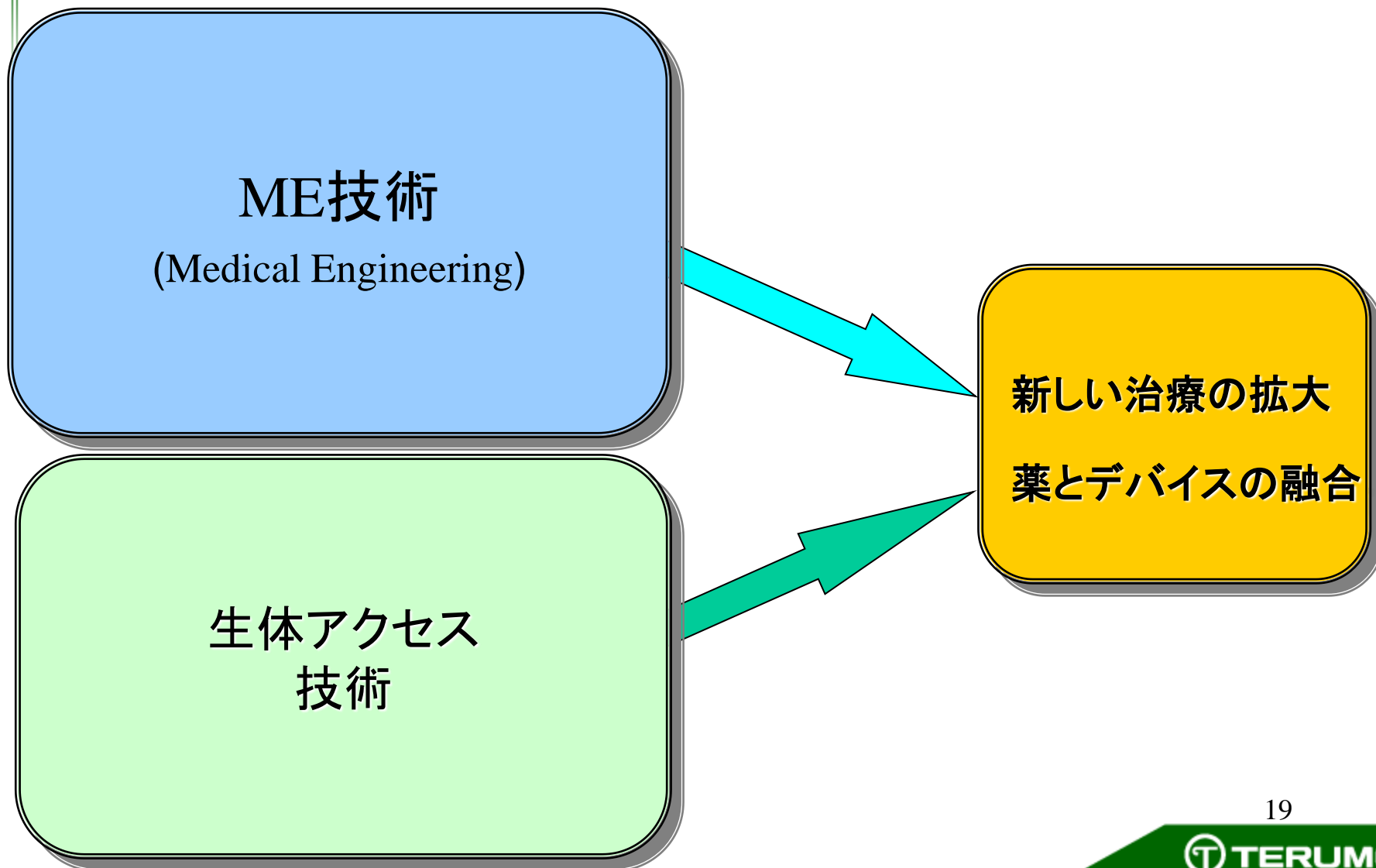
- ・ウサギ腸骨動脈を使用
- ・留置後28日後

EUROPCR06

Dr. Virmani

発表資料より

技術の進化② 生体アクセス & ME 技術



補助人工心臓

ME技術

- 精密制御
- 生体反応計測
- 小型化

生体アクセス 技術

世界初
磁気浮上型遠心ポンプ

QOLの向上

トータル2kgと軽量
(ポンプ・コントローラ・バッテリー)

補助人工心臓「DuraHeart」

欧州:

- ・追加臨床試験中
- ・2006年度第4QにCEマーク取得予定

米国:

- ・2007年度中に治験申請予定



糖尿病事業のコンビネーション

「メディセーフミニ」
血糖測定器



生体アクセス技術

ME技術

「ファインタッチ」
血糖測定用穿刺器具

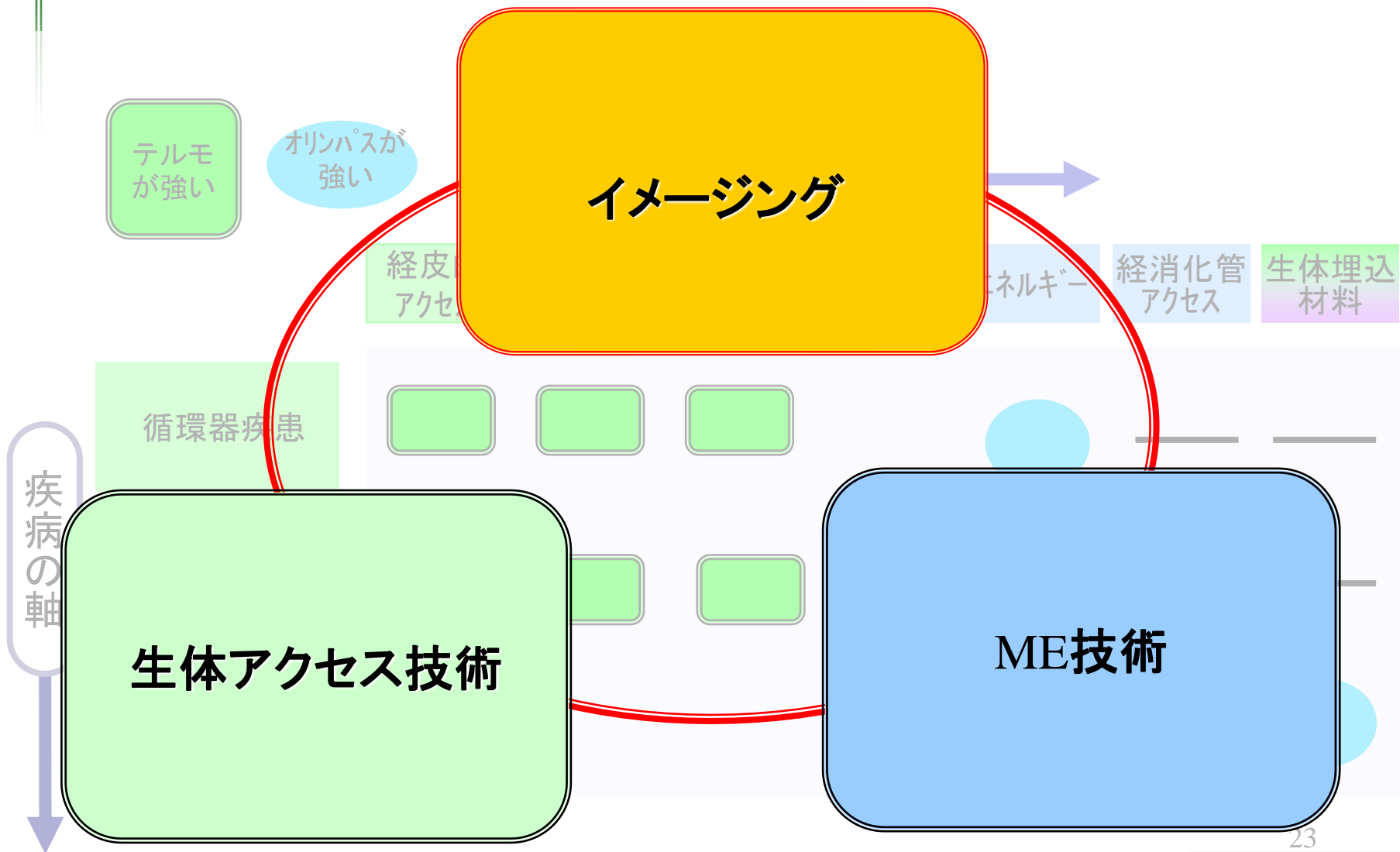


「ナノパス」
世界一細い針*



*当社調べ

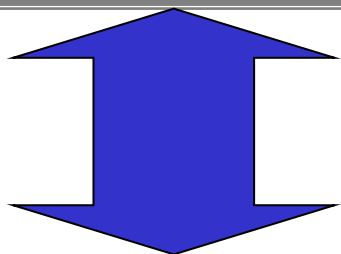
オリンパス社との開発シナジー



トピックス：マイクロベンション社の コイル

MicroVention 社を買収

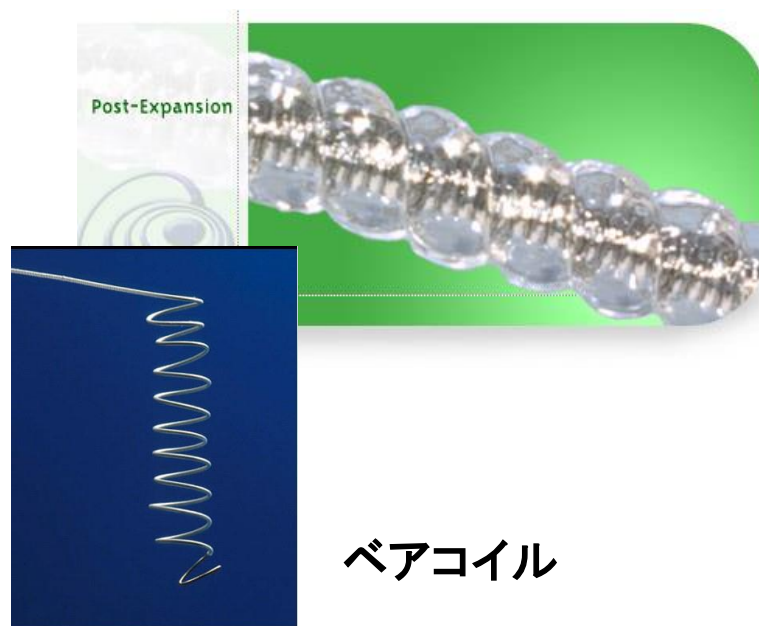
- 脳治療分野に本格参入
- 情報の宝庫、米国のプレゼンス拡大
- 最先端の膨潤性コーテッドコイル



<テルモへのインパクト>

- 脳領域デリバリー関連商品の拡大
- コイル・コーティング技術の応用

コーテッドコイル



ベアコイル

欧州、米国、アジア

ーベアコイル、コーテッドコイルともに販売中

日本

ーベアコイルを6月より販売開始

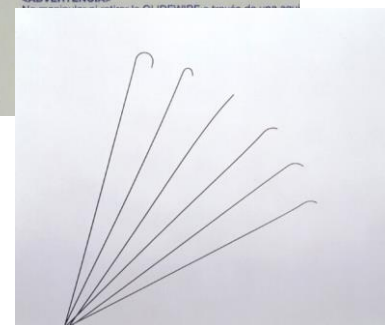
トピックス：カテーテルの米国自販、順調なスタート

・アカウント継承に注力

- ・グライドワイヤー（放射線科中心）
- ・イントロデューサーキット（循環器科中心）

・商品パイプラインの開発体制の整備

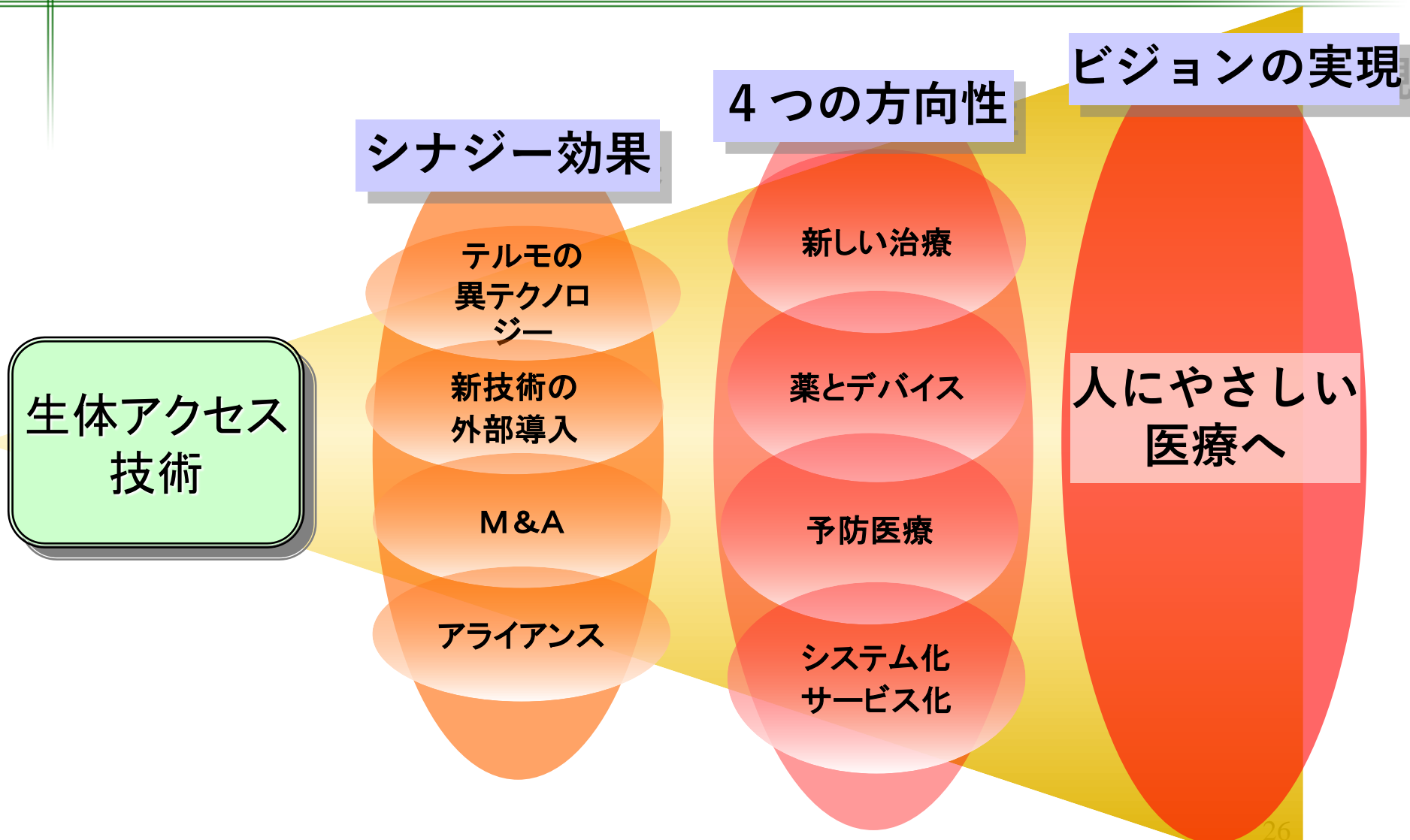
- ・既存商品を米国仕様にブラッシュアップ
- ・米国での開発強化



世界のスタンダードである
「グライドワイヤー」

2006年度 売上・利益ともに拡大

テルモの商品開発の方向性



《おことわり》

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が、記載されている予想・見通しとは異なる場合があります。ご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レート、競争状況などがあります。